

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

ソーラーバッテリー方式レーダー探知機

**VZ-200N**

●保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※お客様

ご住所 〒

TEL ( ) -

お名前

※販売店

店名・住所 〒

TEL ( ) -

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白砂町4-43-4

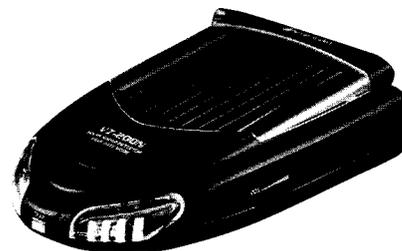
**MARUHAMA**

ソーラーバッテリー方式・受信機能搭載  
X/K 2バンド高感度レーダー探知機

# VZ-200N

## 取扱説明書

<保証書付>



VZ-200Nをお買いあげいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上でご使用いただきますようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

**まず最初に充電します。**

初めてご使用になるときは付属のカー電源コードを使い、10時間以上充電してからご使用ください。

## 目 次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 主な特長	4
4. 各部の名称とはたらき	6
5. 取付方法	7
1. フロントガラスへの取付	7
2. ダッシュボードへの取付	7
3. サンバイザーへの取付	8
4. ソーラーパネルの開閉方法	8
6. 電源について	9
1. ご使用になる前に	9
2. カー電源コードで充電・使用するには	9
3. ソーラーパネルについて	9
4. バッテリーローアラム	10
5. オートパワーオフ機能について	10
6. 電池の寿命について	10
7. 使用方法	11
8. 各種機能	12
1. オートアラームカット (AAC) システム	12
2. オートミュート機能	14
3. ミュート機能	14
4. アラームテスト機能	14
5. 受信機能の設定	15
①カーロケ無線・取締無線 (350.1MHz) の受信設定	15
②デジタル無線 (160MHz 帯・署活系)	
ヘリテレ無線の受信設定	15
6. パスメモリーの登録	16
7. Nシステムの検知設定	17
8. レーダー受信感度の設定	17
9. レーダーアラームの切替	18
10. 簡易セキュリティの設定	18
11. 設定の初期化	18
9. レーダー受信	19
10. 受信機の機能	20
11. 故障とお考えになる前に	23
12. 主な仕様	24

## ■1. 安全についてのお願いとご注意■

本製品を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

### ■絵表示の例

-  △記号は気をつける必要があることを表しています (警告・注意)。  
 ⊘記号はしてはいけないことを表しています (禁止)。図の中や近くの表示は禁止の内容 (左図は分解禁止) を示し、一般の禁止は⊘です。  
 ●記号はしなければならないことを表しています (強制)。(左図は差し込みプラグをコンセントから抜く。)一般の表示は●です。

### 人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ●本機を濡らさないでください。  
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ●車を運転中に本機を操作しないでください。  
車を運転中に本機の操作をすることは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ●ケースは絶対に開けないでください。  
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ●スピードの出しすぎにご注意ください。  
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
-  ●発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。  
これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合には車のシガーライターソケットから抜いてください。)そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

## けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと



■衝撃や強い振動を加えないでください。  
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。



■高温時の取扱にご注意ください。  
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。



■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。



シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

## 機能上の制約



■日本国内で使用してください。  
本機は日本国内向けの仕様となっています。外国では電波方式が異なりますので使用できません。



■マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。  
本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤ式などのスピード取締機には対応していません。



■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。  
前方に走行中の車(特に大型車)がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車で使用した際も受信しにくい場合があります。



■取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。  
取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

## 2. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

- 本機……………1台
- 取付ステー……………1セット
- 吸盤……………2個
- 両面テープ……………1枚
- サンバイザークリップ……………1個
- カー電源コード……………1本
- 取扱説明書兼保証書(本紙)……………1冊

## 3. 主な特長

### ■ソーラーパネル搭載

本機はソーラーパネルからニッケル水素電池に充電します。  
十分に充電を行った後は、カー電源コードを抜いた状態でも使用できます。

### ■X/Kの2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応することで、全てのレーダー式スピード取締機に対応しました。

### ■デジタルロケータースystem電波(160MHz帯)を受信可能

160MHz帯の警察無線を受信できます。

### ■ポリロケータースystem電波(UHF帯署活系)を受信可能

UHF帯の警察署活系デジタル無線を受信できます。  
※電池の消耗を抑えるため、署活系無線は外部電源使用時のみ受信します。

### ■トラップゲートモード搭載

複数の警察無線を受信した場合、すべてのランプの点滅と専用アラームで取締(検問等)の可能性が高いことをお知らせします。

### ■速度取締現場の連絡無線を受信可能

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信できます。

### ■カーロケータースystem電波を受信可能

緊急車両(パトカー等)に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。  
※ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

### ■カーロケータースystem電波・デジタル無線発信車両の接近・離反をお知らせ

発信車両の接近・離反を判断し、音声でお知らせします。

### ■エクセレントロケータースystem

カーロケータースystem・デジタルロケータースystem・ポリロケータースystemのトリプル受信で緊急車両の接近検知度がさらに向上します。

### ■ステルス/新Hシステム対応

ハイゲイン・ホーンアンテナとD、D、C回路によりクイックレスポンスを実現しました。

微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。  
※ステルス識別モードはステルス型スピード取締に完全対応ではありません。  
先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

### ■Nシステム(自動車ナンバー自動読み取りシステム)対応

Nシステムを検知できます。

### ■ヘリテレ無線(ヘリコプター取締連絡無線)対応

ヘリコプターから無線中継所に送信される電波をキャッチすることにより、いち早く事件・事故等の場所を知ることができ、安全な走行ができます。  
ただし、一部地域やヘリコプターにこのシステムが導入されていない場合があります。

※電池の消耗を抑えるため、ヘリテレ無線は外部電源使用時のみ受信します。

### ■4モード受信感度切替(レーダー受信感度)

市街地などで低速での走行時にはノーマルモードに、バイパスや自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況によりレーダーの受信感度を4段階に切り替えられます。

### ■オートアラームカット(AAC)システム搭載

内蔵の振動センサーにより、停車中および低速走行時のアラーム音をカットします。

### ■オートパワーオフ

停車中は自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。

### ■オートディママー&オートミュート機能

一定時間レーダー波を受信し続けると、警告ランプの光量が抑えられ、警告音の音量が小さくなります。

### ■バッテリーローアラーム

電池が消耗すると音声でお知らせします。

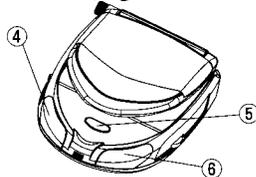
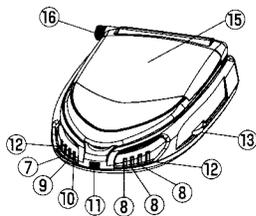
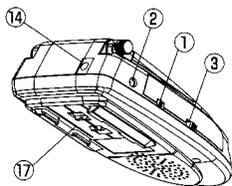
### ■パスメモリー機能搭載

デジタルロケータースystem・ポリロケータースystem受信は不要なチャンネルの受信を回避できます。

### ■簡易セキュリティモード搭載

駐車中に振動を検知すると、ランプの点滅により不審者に対して簡易的な威嚇動作を行います。

## 4. 各部の名称とはたらき



- ①電源スイッチ(POWER)  
本体の電源をON/OFFします。
- ②DCジャック(DC IN)  
付属のカー電源コードを接続します。
- ③センサー感度切替スイッチ(SENSOR)  
振動センサーの感度を切り替えます。
- ④カーロケ/350.1ボタン(407/350.1)  
カーロケ無線および取締無線の受信設定を切り替えます。  
(ランプカバーがボタンになっています。)
- ⑤ミュート/テストボタン(MUTE/TEST)  
アラーム音のミュート(消音)、アラームテスト動作を行います。
- ⑥デジタル/レーダーボタン(DIGI/RD)  
デジタル、ヘリテレ無線の受信設定切替およびレーダー感度の切替を行います。  
(ランプカバーがボタンになっています。)
- ⑦電源/AACランプ(POW/AAC)  
AACの設定状態および、振動センサーの検出状態を表示します。
- ⑧アラームレベルランプ(1/RD, 2, 3/N)  
レーダー波受信時、レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれてランプの点灯数が増えます。また、1/レーダーランプ(1/RD)はレーダー感度の設定表示、3/Nランプ(3/N)はNシステムの設定表示も行います。
- ⑨デジタル/ヘリテレランプ(DIGI/HELI)  
デジタル無線またはヘリテレ無線を受信時に点滅します。
- ⑩350.1/カーロケランプ(350.1/407)  
カーロケ無線または取締無線を受信時に点滅します。
- ⑪トラップランプ(TRAP)  
検問検知判定時に点滅します。
- ⑫アラームランプ(ALARM)  
レーダー波を受信すると点滅します。
- ⑬音量調整つまみ(VOL)  
警告アラーム音の音量を調整します。
- ⑭Nシステム受光部  
Nシステムを検知します。
- ⑮ソーラーパネル  
⑯ソーラーパネル固定ネジ  
太陽光がよく当たるように角度を調節して固定します。
- ⑰取付ステー装着部

## 5. 取付方法

### 1. フロントガラスへの取付

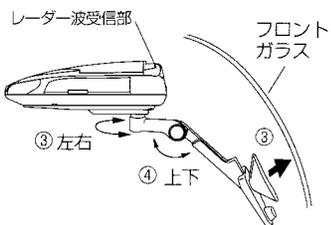
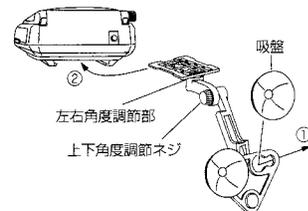
①付属の取付ステーに同梱の吸盤を取り付けます。

②本機に取付ステーを取り付けます。

③レーダー波受信部が車の進行方向を向くように左右角度調節ネジをドライバーで固定し、フロントガラスに吸着させます。  
※吸盤に水などをつけると吸着させやすくなります。

④本体の角度を地面と水平になるように調整し、上下角度調節ネジを締めてください。

⑤ソーラーパネルを可動し、太陽光がよく当たるように調整してください。  
(P. 8 4. ソーラーパネルの開閉方法を参照)



### 2. ダッシュボードへの取付

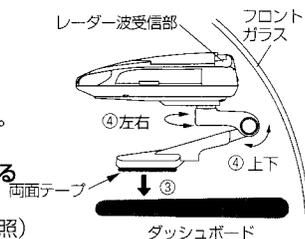
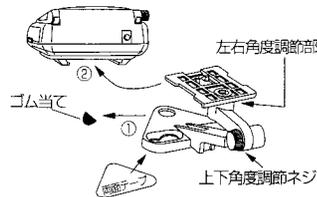
①付属の取付ステーのゴム当てをはずし、同梱の両面テープの片面を貼り付けます。

②本機に取付ステーを取り付けます。

③レーダー波受信部が車の進行方向を向くように左右角度調節ネジをドライバーで固定し、ダッシュボードへ貼り付けます。

④本体の角度を地面と水平になるように調整し、上下角度調節ネジを締めてください。

⑤ソーラーパネルを可動し、太陽光がよく当たるように調整してください。  
(P. 8 4. ソーラーパネルの開閉方法を参照)

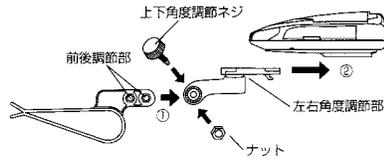


### 3. サンバイザーへの取付

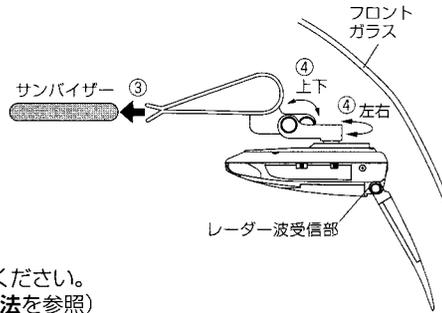
①取付ステーの上下角度調節ネジを外し、図のようにサンバイザークリップを取り付けます。



②本機に取付ステーを取り付けます。



③助手席側のサンバイザーに挟み込みます。



④本体の角度を地面と水平になるように、またレーダー波受信部が車の進行方向を向くように調節してください。

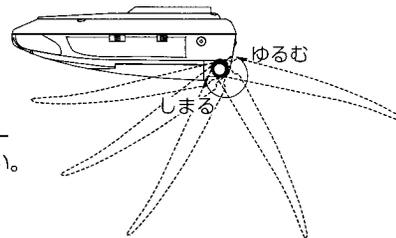
⑤ソーラーパネルを可動し、太陽光がよく当たるように調節してください。  
(P.8 4. ソーラーパネルの開閉方法を参照)

#### ご注意

- レーダー波受信部の前方に金属やゴムなどの障害物がこない場所へ取り付けてください。また、本体がフロントガラスに触れないようにしてください。
- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くには取り付けしないでください。
- 取付の際に本機が落下しないようにご注意ください。
- ソーラーパネルに太陽光が十分に当たる場所へ取り付けてください。

### 4. ソーラーパネルの開閉方法

①ソーラーパネル固定ネジを十分にゆるめてソーラーパネルを広げてください。



②ソーラーパネルの角度が決まったらソーラーパネル固定ネジをしっかりと締めてください。

#### ご注意

- ネジが締まったまま広げますと本機の破損を招きますので十分にご注意ください。

## 6. 電源について

本機はソーラーパネルを使い、太陽光から内蔵のニッケル水素電池に充電して使用する製品です。



### 警告

#### ■高温時の取り扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので本機に触れる場合は十分にご注意ください

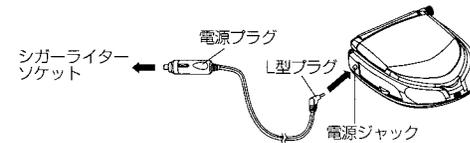
#### 1. ご使用になる前に

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください。  
本機を使用しながら(電源ONの状態)充電することができます。

#### 2. カー電源コードで充電・使用するには

付属のカー電源コードにより外部電源(車のバッテリー)を本体に接続し、内蔵の電池に充電します。

- カー電源コードのL字形プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。



#### ご注意

- カー電源コードを使用する場合、車のエンジンが停止していると充電されません。
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

#### 3. ソーラーパネルについて

- 電源が入ってなくても充電されます。
- 晴天時は約1.3時間で満充電になります(電源OFF時)。
- 満充電後は、全く充電されない状態で約40時間連続動作します(レーダー受信待受時)。
- ソーラーパネルで十分な充電ができない場合はカー電源コードをご使用ください。

#### ご注意

- 夏季や冬季の駐車中では車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。そのため電池の充電時間が変化する場合があります。
- 雨天・曇天時や夜間などでは十分に充電することができません。
- ソーラーパネル全面に太陽光が当たらないと十分な充電ができません。

#### 4. バッテリーローアラーム

電池が消耗し残量が少なくなると、音声でお知らせします。  
さらに電池が消耗しますと、全機能を停止し、ボタン操作を受け付けなくなります。  
その場合は、カー電源コードを使用して充電してください。

電池電圧	音声
電圧低下	“充電してください。”（30秒毎にお知らせ、3回まで）
使用不可	“充電してください。”（30秒毎にお知らせ）

#### 5. オートパワーオフ機能について

停車中や駐車中など振動の少ない状態が約3分間続くと、自動的に動作を停止します。  
動作停止後、乗車またはエンジン始動などにより車の振動が大きくなると動作を再開します。

##### ご注意

- 振動や騒音の激しい場所などではオートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。そのような状況で長時間駐車する場合は電源を切ってください。

#### 6. 電池の寿命について

- 本体内蔵の電池は使用状況にもよりますが約3年が寿命です。  
十分に充電しても電池のみでは長時間作動しなくなった場合は、電池の寿命がきています。その場合は、付属のカー電源コードをご使用になることで通常通り動作させることができます。  
※電池を交換される場合は本体ごとお買い上げの販売店にお持ちになり、交換をご依頼ください。

##### ご注意

- 本機は専用の電池を使用しています。安全のために専用電池以外は使用しないでください。新しい電池については、お買い上げの販売店へご相談ください。

## 7. 使用方法

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は付属のカー電源コードを使用して内蔵電池に充電してください。  
本機は工場出荷時に初期設定していますので、初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

#### ※工場出荷時の設定

設定項目	設定値	説明ページ
AAC	ON	P. 12
取締無線	ON	P. 15
カーロケ	ON	P. 15
デジタル無線	ON	P. 15
ヘリテレ無線	ON	P. 15
パスメモリー	未登録	P. 16
Nシステム	スーパー	P. 17
レーダー感度	エクストラ	P. 17
レーダーアラーム	ボイス	P. 18
セキュリティ	OFF	P. 18

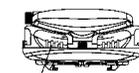
#### ①電源を入れます

- ・電源スイッチをONにします。



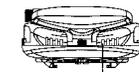
- ・ブザー音が鳴り、AACおよびレーダー感度、セキュリティの設定状態が3秒間表示されます。

AACの設定	電源/AACランプ
ON	赤色点灯
OFF	赤・緑2色点灯



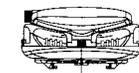
電源/AACランプ

レーダーの感度	1/レーダーランプ
エクストラモード	緑色点灯
ウルトラモード	緑・赤2色点灯
スーパーモード	赤色点灯
ノーマルモード	消灯



1/レーダーランプ

セキュリティの設定	トラップランプ
ON	赤色点灯
OFF	消灯

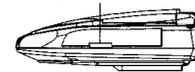


トラップランプ

#### ②走行中は各ランプおよび各種ブザー音や音声により警告を行います。

- ・音量を調節するには、ミュート/テストボタンを押し、警告音が鳴っているときに音量調節つまみを回して適当な音量に調節してください。

音量調節つまみ



## 8. 各種機能

### 1. オートアラームカット (AAC) システム

#### ① AACのはたらき

本機に内蔵されている振動センサーにより振動を検出することで、停車中及び低速走行時は不要なレーダーアラーム音をカットします。無線の受信警告およびNシステムの警告はカットしません。

(約3分間振動のない状態が続くと、オートパワーオフ機能により自動的に動作停止状態になります。)

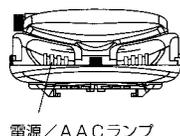
#### ② AACの設定方法

カーロケ/350.1 ボタンを押しながら電源スイッチをONにします。



操作を行うたびにAACの設定ON/OFFが切り替わります。設定は電源/AACランプの色で確認することができます。

設定	確定ボイス	電源/AACランプ
ON	"AACを設定しました"	赤色点灯
OFF	"AACを解除しました"	赤・緑2色同時点灯



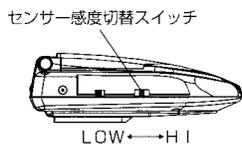
※電源/AACランプは、外部電源未使用時には点滅表示になります。

#### ③ 振動センサーの感度設定について

ご使用になる車種や取り付ける場所にに応じて切り替えてください。振動センサーの感度設定によりAAC、オートパワーオフ機能が正常に動作しない場合があります。

##### ① 感度を切り替えます

センサー感度切替スイッチで感度を切り替えます。感度は4段階に変更できます。



感度	設定目安
HI ↑ ↓ LOW	ガソリン車 (感度：高)
	ディーゼル車 (感度：高)
	ガソリン車 (感度：中)
	ディーゼル車 (感度：中)
LOW	ガソリン車 (感度：低)
	ディーゼル車 (感度：低)

##### ② 動作を確認します

設定切替後、「④動作確認」(→P.13)に基づいて正常に動作するかどうか確認してください。

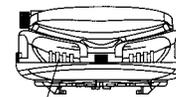
### ご注意

- AACをONにしても、車種によってはアイドリング中、警告動作が止まらない場合があります。そのときは本機の取付場所を変更してみてください。
- 車種によってはAACが正常に働かないことがあります。そのような車種ではAACをOFFにしてください。
- AACの設定をOFFにしても、オートパワーオフ機能は動作します。
- 振動センサーの感度を低く設定すると、オートパワーオフ機能により動作停止状態のままになり、車を走行させても動作を再開しない場合があります。

#### ④ 動作確認

##### ① AACをONにします

電源スイッチを入れ、電源/AACランプが赤色に点灯することを確認します。赤・緑2色同時点灯した場合は一旦電源を切り、「②AACの使用方法」に基づいてAACの設定を切り替えてください。



電源/AACランプ

##### ② 車を走行させます

車を走行させて電源/AACランプの点滅色が赤から緑に変わることを確認してください。

※図～図で正常に動作しない場合は「④振動センサーの感度設定について」に基づいて切り替えてください。

##### ③ 走行速度を落とします

低速走行またはアイドリング状態で電源/AACランプの色が緑から赤に変わることを確認してください。

※図で車を走行させても電源ランプの色が緑に変わらないときは、振動センサーの感度を高く設定してください。

##### ④ 停車します

停車してから約3分後に全てのランプが消灯し動作停止することを確認してください。

※図でアイドリング中に電源/AACランプの色が赤に変わらないときは振動センサーの感度を低く設定してください。

##### ⑤ 車を走行させます

車を走行させてから数秒後に動作を開始し、電源/AACランプが点灯することを確認してください。

## 2. オートディマー&オートミュート機能

一定時間、レーダー受信時の警告音が鳴り続けると、自動的にアラームランプおよびアラームレベルランプの光量と警告音の音量が抑えられ、電池の消耗を抑えます。

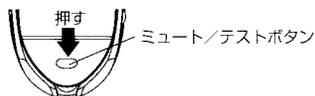
## 3. ミュート機能

警告動作中に警告音が不要になったとき(レーダー波の発信源がわかっているときなど)受信中のレーダー波がなくなるまで警告音をカットできます。

### 操作方法

#### ①警告動作中にミュート/テストボタンを押します

ミュート機能が働いて警告音が止まります。



#### ②ミュート機能を途中で解除するには再度ミュート/テストボタンを押します

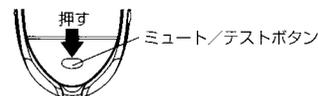
## 4. アラームテスト機能

アラームテストを行うことができます。  
音量の調節時などにご使用ください。

### 操作方法

#### ①待機中(警告動作を行っていない)にミュート/テストボタンを押します

アラームテストが始まります。



#### ②アラームテストを途中で解除するには再度ミュート/テストボタンを押します

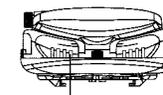
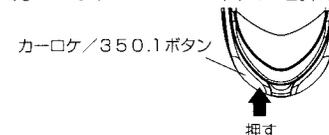
## 5. 受信機能の設定

各種無線の受信機能の設定切替ができます。

### ①カーロケ無線・取締無線(350.1MHz)の受信設定

#### 操作方法

カーロケ/350.1 ボタンを押します。



350.1/カーロケランプ

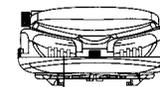
操作のたびに設定が以下のように変わります。

カーロケ無線	取締無線	350.1/カーロケランプ	確定ボイス
ON	ON	緑・赤2色点灯	"カーロケを設定しました、 取締無線を設定しました"
OFF	OFF	消灯	"カーロケを解除しました、 取締無線を解除しました"
ON	OFF	緑色点灯	"カーロケを設定しました、 取締無線を解除しました"
OFF	ON	赤色点灯	"カーロケを解除しました、 取締無線を設定しました"

### ②デジタル無線(160MHz帯・署活系)・ヘリテレ無線の受信設定

#### 操作方法

デジタル/レーダーボタンを押します。



デジタル/ヘリテラランプ

操作のたびに設定が以下のように変わります。

デジタル無線	ヘリテレ無線	デジタル/ヘリテラランプ	確定ボイス
ON	ON	緑・赤2色点灯	"デジタル無線を設定しました、 ヘリテレ無線を設定しました"
OFF	OFF	消灯	"デジタル無線を解除しました、 ヘリテレ無線を解除しました"
ON	OFF	緑色点灯	"デジタル無線を設定しました、 ヘリテレ無線を解除しました"
OFF	ON	赤色点灯	"デジタル無線を解除しました、 ヘリテレ無線を設定しました"

※電池の消耗を抑えるため、署活系無線およびヘリテレ無線は外部電源使用時のみ受信します。

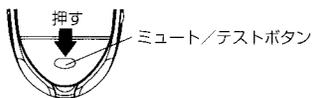
## 6. パスメモリーの登録

デジタル無線とヘリテレ無線は任意のチャンネルをパスメモリー登録し、受信対象から外すことができます。これにより地域ごとに異なる常時使用チャンネルの受信を回避できますので、効率的かつ実用的な受信検出ができます。

### 操作方法

① デジタル無線またはヘリテレ無線が受信中であることを確認します

② 15秒以内にミュート/テストボタンを1秒以上押します



先ほど受信したデジタル無線またはヘリテレ無線の受信チャンネルをパスメモリーに登録します。

全てのデジタル無線、ヘリテレ無線チャンネルについて登録ができます。登録が完了すると、「パスメモリーを設定しました。」と音声でお知らせします。

### ご注意

デジタル無線、ヘリテレ無線を受信していない状態で上記の操作を行いますと、セキュリティ設定の切替(→P. 18)になります。

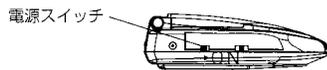
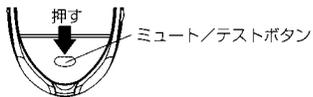
③ 受信待ちの状態になります

登録されたチャンネルは以後受信しません。

※ミュート/テストボタンを押しながら電源スイッチをONにすることにより、全てのパスメモリーをクリアします。

その際、「パスメモリーを消去しました」とお知らせします。

パスメモリーに登録した受信チャンネルは1つずつクリアすることはできません。



### ちょっと一言

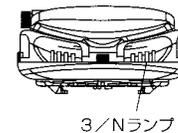
カーロケ無線と取締無線は各1チャンネルしかありませんので、カーロケ無線と取締無線を受信したくない場合はそれぞれの設定をOFFにしてください。

## 7. Nシステムの検知設定

Nシステムを検知した際に、警告を行うかどうかの切替ができます。

### 操作方法

カーロケ/350.1ボタンを1秒以上押します。



操作のたびに設定が以下のように変わります。

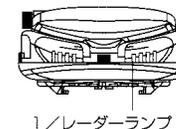
感度	3/Nランプ	確定ボイス
高	緑色点灯	"Nシステムをスーパーモードを設定しました"
低	赤色点灯	"Nシステムをノーマルモードを設定しました"
OFF	消灯	"Nシステムを解除しました"

## 8. レーダー受信感度の設定

レーダー受信感度の切替ができます。

### 操作方法

デジタル/レーダーボタンを1秒以上押します。



操作のたびに設定が以下のように変わります。

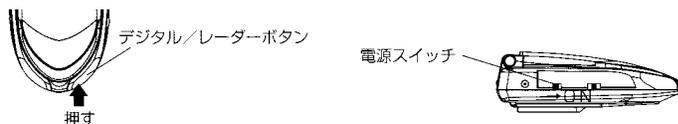
	感度	使用状況の例	1/レーダーランプ	音声
高	エクストラモード	自動車専用道路 高速道路走行時	緑色点灯	"エクストラモード を設定しました"
	ウルトラモード		緑・赤2色点灯	"ウルトラモード を設定しました"
	スーパーモード		赤色点灯	"スーパーモード を設定しました"
低	ノーマルモード	市街地走行時	消灯	"ノーマルモード を設定しました"

## 9. レーダーアラームの切替

レーダー受信時のアラームを音声とブザー音のどちらで行うか切り替われます。

### 操作方法

デジタル／レーダーボタンを押しながら電源スイッチをONにします。



操作のたびに音声とブザー音が切り替わります。

設定	確定ボイス
音声	"取締機に注意してください"
ブザー音	"ピッ、ピッ、ピッ"

## 10. 簡易セキュリティの設定

簡易セキュリティ動作の設定切替ができます。

簡易セキュリティ動作がONになっていると、駐車時に振動を検出した場合にすべてのランプが点滅して威嚇します。

### 操作方法

待機中(警告動作を行っていない)にミュート／テストボタンを1秒以上押します。



操作のたびに簡易セキュリティ動作のON/OFFが切り替わります。

設定	確定ボイス
ON	"セキュリティを設定しました"
OFF	"セキュリティを解除しました"

セキュリティの設定がONの場合、電源ON時にトラップランプが点灯します。

### ご注意

- 簡易セキュリティ動作はオートパワーオフ(→P. 10)した場合の駐車中に行います。電源スイッチがOFFの状態では動作しません。
- 簡易セキュリティ動作を行うと電池が消耗しやすくなります。また、電池残量が少なくなると簡易セキュリティ動作を行わなくなるので、あらかじめカー電源コードを使用して十分な充電を行ってから簡易セキュリティ動作の設定をONにしてください。

### 11. 設定の初期化

設定を工場出荷時の状態(→P. 11)に戻すには、カーロケ/350.1ボタン、デジタル／レーダーボタンの2つのボタンを押したまま電源スイッチをONにしてください。設定が初期化され、"消去しました"と音声でお知らせします。

## 9. レーダー受信

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音(設定により音声またはブザー音)およびランプの点滅によりレーダー波の受信をお知らせします。

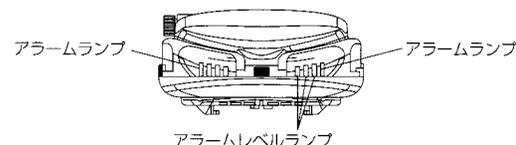
レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて警告音のテンポおよびアラームレベルランプの点灯数が変化します。

またステルス波を受信した場合、"ステルスをキャッチしました"と音声でお知らせします。

(レーダー受信感度切替→P. 17、レーダーアラームの切替→P. 18)

警告音	レーダー波が強くなるにつれて間隔が短くなります。
アラームランプ	警告音にあわせて点滅します。
アラームレベルランプ	レーダー波が強くなるにつれて段階的にランプの点灯数が増えていき、レーダー波が一定以上強くなった場合、全点滅します。

受信レベル	アラームレベルランプ	警告音声	アラームランプ
弱 ↑ ↓ 強	消灯	"注意してください"	低速点滅 ↑ ↓ 高速点滅
	緑 点滅		
	緑・黄 点滅		
	緑・黄・赤 (低速点滅)	"危険です"	
緑・黄・赤 (中速点滅)			
緑・黄・赤 (高速点滅)	高速点滅		
ステルス	緑・黄・赤・緑・黄…と順番に点灯		高速点滅



### ご注意

- 前方に走行中の車(特に大型車)がある場合や、コーナー・坂道ではレーダー波が遮断されるためにレーダー波探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂などでは特に注意してください。
- 電波式の自動ドアなどは取締レーダー波と同じ種類の電波が利用されています。したがって、これらの機器周辺でレーダー探知機が反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずにご注意ください。

## 10. 受信機の機能

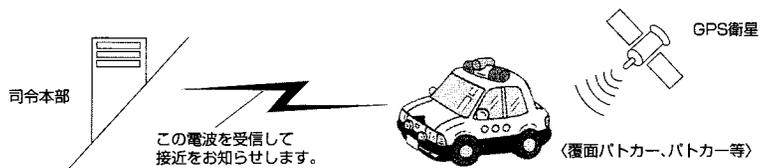
本機は、取締無線(350.1MHz)、カーロケータシステム(自車位置測定情報システム)電波、およびデジタル無線(160MHz帯/署活系)、ヘリテレ無線を受信し、音声とランプの点滅で警告します。また、Nシステム(自動車ナンバー自動読みとりシステム)を検知し、音声とランプの点滅で警告します。

### ■取締無線(350.1MHz)とは



### ■カーロケータシステムとは

GPSによる位置データを無線で定期的(間欠)に司令本部に送信するシステムです。



### ■デジタル無線とは

緊急車両どうしの通信に用いられる無線です。160MHz帯と署活系の2種類があります。デジタル化されているため、内容を聞くことはできません。

### ■ヘリテレ無線(ヘリコプター取締無線)とは

ヘリコプターから無線中継所へ送信される電波のことで主に、事件・事故や取締等の時、上空と地上で連絡を取るために使われています。

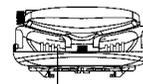


### ■Nシステム(自動車ナンバー自動読みとりシステム)とは

全ての走行車輛を必要に応じてデジタルカメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする自動車ナンバー読みとり装置です。

### 1. 取締無線(350.1MHz)の受信(受信設定切替→P. 15)

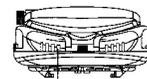
取締連絡波(350.1MHz)を受信すると350.1/カーロケランプが赤色点滅し、受信音声を聴くことができます。受信終了後には"ピンポーン、取締無線をキャッチしました。注意してください"と、音声でお知らせします。



350.1/カーロケランプ

### 2. カーロケ無線の受信(受信設定切替→P. 15)

カーロケータシステムの電波を受信すると350.1/カーロケランプが緑色点滅します。また検出状況に応じて音声でお知らせします。



350.1/カーロケランプ

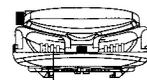
受信	検出状況	音声
初回受信	—	"ピンポーン、カーロケをキャッチしました"
再受信	接近判定	"ピンポーン、緊急車両が接近しました"
	離反判定	"ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました"

### ご注意

カーロケータシステムは全ての緊急車輛に搭載されているわけではなく、また常時車輛から電波を出しているわけでもありません。カーロケータシステムの電波を出していない緊急車両の接近はお知らせすることができません。

### 3. デジタル無線(160MHz帯)の受信(受信設定切替→P. 15)

デジタル無線(160MHz帯)を受信するとデジタル/ヘリテレランプが緑色点滅し、検出状況に応じて音声でお知らせします。



デジタル/ヘリテレランプ

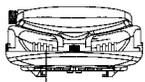
受信	検出状況	音声
初回受信	—	"ピンポーン、デジタル無線をキャッチしました"
再受信	接近判定	"ピンポーン、緊急車両が接近しました"
	離反判定	"ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました"

### ご注意

デジタル無線(160MHz帯)はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### 4. デジタル無線(署活系)の受信(受信設定切替→P. 15)

デジタル無線(署活系)を受信するとデジタル/ヘリテレランプが緑色点滅し、検出状況に応じて音声でお知らせします。



デジタル/ヘリテレランプ

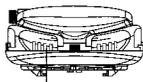
受信	検出状況	音声
初回受信	—	"ピンポーン、署活系無線をキャッチしました"
再受信	接近判定	"ピンポーン、緊急車両が接近しました"
	離反判定	"ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました"

#### ご注意

デジタル無線(署活系)はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。電池の消耗を抑えるため、デジタル無線(署活系)は外部電源使用時のみ受信します。

#### 5. ヘリテレ無線の受信(受信設定切替→P. 15)

ヘリテレ無線を受信するとデジタル/ヘリテレランプが赤色点滅し、受信音声を聴くことができます。受信終了後には"ピンポーン、ヘリテレ無線をキャッチしました。注意してください"と、音声でお知らせします。



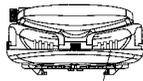
デジタル/ヘリテレランプ

#### ご注意

電池の消耗を抑えるため、ヘリテレ無線は外部電源使用時のみ受信します。

#### 6. Nシステムの感知(受信設定切替→P. 17)

Nシステムを感知すると3/Nランプが緑・赤2色点滅し、"ピンポーン、Nシステムをキャッチしました。"と、音声でお知らせします。



3/Nランプ

#### ご注意

Nシステム以外にも、太陽光、雷光、ネオン、他の赤外線やイグニッションノイズに反応する場合があります。

#### 7. トラップゲートモードでの受信アラーム

複数の警察無線を受信した場合、取締(検問)の可能性が高いと判断し、全てのランプが点滅し、"ピーピーピー、検問に注意してください"と音声でお知らせします。

## 11. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池が消耗している →カー電源コードで充電してください</li> <li>●オートパワーオフ機能が働いている →振動センサーの感度を高く設定してください(→P. 12)</li> <li>●電源スイッチがONになっていない</li> </ul>
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●太陽光が十分でない →カー電源コードで充電できるか確認してください</li> <li>●カー電源コード内部のヒューズが切れている →新しいヒューズと交換してください</li> <li>●電池の寿命 →電池を交換してください(→P. 10)</li> </ul>
レーダー波を受信しない(音がでない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源が入っていない</li> <li>●音量が小さい</li> <li>●受信感度の設定がノーマルモードで電波の弱い場所にいる →レーダー受信感度をより高く設定してください(→P. 17)</li> <li>●AACが働いている(低振動時はアラームがカットされます) →AACをOFFにするか、振動を与えてください(→P. 12)</li> <li>●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない</li> <li>●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源が入っていない</li> </ul>
取締現場で取締無線が受信できない	●取締現場で取締無線が出ていない(取締現場で、常に無線による連絡が行われているわけではありません)
取締以外で警告が出る	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響
デジタル無線を受信したままになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになっている →パスメモリ機能をご使用ください(P. 16)</li> </ul>

## 12. 仕様

### ◆レシーバー部

受信周波数……Xバンド/Kバンド  
受信方式……ダブルスーパーヘテロダイン  
受信感度……Xバンド -110dBm/エクストラモード  
Kバンド -105dBm/エクストラモード

### ◆レシーバー部

受信周波数……VHF帯/UHF帯  
受信方式……ダブルスーパーヘテロダイン  
その他……Nシステム(赤外線)

### ◆外觀/一般

電源電圧……DC 3.6V ニッケル水素電池(本体内蔵)  
DC 12V 外部電源(充電器兼用)  
動作温度範囲……-10℃~+60℃  
外形寸法……74.5(W)×115(D)×34.5(H)mm(突起部を除く)  
重量……135g

## ●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ販売店に修理を依頼してください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理になります。  
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合  
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷  
(ハ)異常電圧、指定外の電源使用(電圧・周波数)、火災、地震、水害、公害、その他天災地変などによる故障及び損傷  
(ニ)保証書のご提示がない場合  
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 保証書は日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

- 保証期間はお買い上げ日から一年間です。  
保証書(本書に刷り込まれています)は必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のあるとき修理依頼してください。

■保証期間中は: 保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは: お買い求めの販売店にご相談ください。  
修理により製品機能が維持できる場合はご希望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと…  
修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に変わって同等品と交換させていただくことがあります。また出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご了承ください。

●商品についてのお問い合わせは…  
マルハマサービス                      フリーダイヤル    0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は        TEL                      045-251-2687